開成町立開成南小学校　学校だより

みなみの風

【発行日】
令和８年 10 月 30 日
【発行者】学校長



≪学校教育目標≫　自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子の育成

重点目標「生き生きわくわく」～言葉を大切に、豊かな関わり・確かなつながりをとおして～

一週間遅れてしまいましたが、いよいよ明日は運動会当日となりました。まさかここまで延ばさなければならないとは思いもよらず、某アニメのネコ型ロボットがポケットから天気を自由に操れる道具を出してくれないかなと真剣に考えていました。しかしながら、何とかできそうでほっとしています。

さて、学校で教職員として従事する日々でうれしいことはたくさんありますが、学校行事もその一つです。保護者の方々には大変申し訳ないのですが、我々は当日の頑張りはもちろん、そこに至るまでの過程を見ることができ、とても幸せな思いをもてるのです。うまくいくことばかりでないこと、多々ありますが、間違いなく成長しています。もちろん運動会を苦手としている子も存在しますが、その子なりに今できることに精一杯向き合っている姿はとてもすてきです。

明日は、子どもたち主体の運動会を、ぜひお楽しみください。主役は子どもたちです！

なお、閉会式終了後、片付けのお手伝いをしてくださる方がいられましたら、ご支援くださいませ。





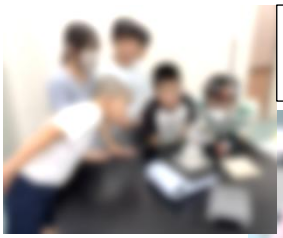
写真は、２年生の団体種目の学びの様子です。デカパンで走るのに苦戦中・・・。
１年生の時とは違って、自分たちで速やかに並ぶこともでき、成長を感じます！



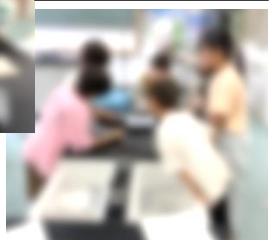
理科室を使っての授業で「生き生き　わくわく」
～４年生理科「水の３つのすがた」～

各教科等で学ぶ内容は、もちろん学年が上がれば難しくなり、低学年の時から基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得していく必要があります。しかしながら、ただ「覚える」ことだけに終始し、「覚えたことを再現する」では、生きた知識とはなりにくいと言われて久しいです。そのような中、子どもたちが前のめりになって学びに向き合っていた４年生の授業を見たので、紹介いたします。

本校の学校グランドデザインの中心にある「令和８年の合言葉」には、「生き生き　わくわく　～『やってみよう』『もっと知りたい』があふれる学び～」と示されおり、本校教職員は、そのために授業準備をし、子どもたちの知的好奇心や知的探究心を高めるよう努めています。



理科室で学ぶのが楽しい！



実験をとおして初めて知った！

「子育てアラカルト㉔　～ペップトーク②～」

言葉というのは、子どもたちが育つうえで、重要な環境の一つです。次の言葉はよく聞くことですが、ポジティブに捉えるとしたら、みなさんはどんな言葉に変換しますか？

「①問題が起こった」「②面倒くさい」「③苦手なこと」「④無理・できない」「⑤忙しい」

私が参加した講演会で、講師の方は次のように変換していました。

「①改善のチャンス」「②やりがいがある」「③克服したら感動すること」「④挑戦に値する」「⑤やることがある」

なるほど・・・。この捉え方なら、最初の一歩を踏み出せそうです。言葉には力があり、子どもたちだけではなく大人も言葉によりモチベーションが左右すると思います。

また、失敗を恐れ挑戦する勇気が出ないという話もよく聞きます。人生の中で、一切失敗しないなんてあり得ない、ということは分かっているのですが、心配で心配で仕方がない場合もあります。これも、何をもって「失敗」というのかを考える必要があるのではないでしょうか。

GREEN　EXPO 関連事業
～花が届きました～

次年度、横浜市で開催される予定の GREEN EXPO2027 ですが、今のところ、本校は日をずらして全校で出掛けようと準備しているところです。現在、結果待ちのところですが、決まり次第、保護者の皆様にお伝えできればと思っています。

さて、過日、関連事業として花の苗やプランター等が本校に届きました。神奈川県としては、県内各地でこの博覧会を盛り上げようとしているようです。

現在、各委員会は運動会の準備を中心の活動としているため、企画委員会の精鋭が苗植えをしてくれました。丁寧に作業していた子どもたちに感謝です。これから本格的に始まる冬を越え、きれいに花を咲かせる日が待ち遠しい今日この頃です。





全校道徳に取り組みました
～「親切」「思いやり」を考える～

「道徳」が教科化されて、「特別の教科　道徳」となって、もうすぐ 10 年を迎えようとしています。校内では、「道徳教育推進教師」と位置付けられる教員がいます。その教員を中心として、今求められるよりより道徳の授業の研究のみならず、学校教育全体にわたって道徳心を育むための「道徳教育」の企画・立案をすすめています。

過日、学校全体で同じ題材を扱う「全校道徳」が実践されました。本校の重点目標の一つである「親切・思いやり」の涵養を目指し、「まほうのひとこと　～運動会のリレー練習にて～」を題材にして、学びました。詳細は道徳だよりをご覧いただきたいと思いますが、私の手元には、たよりに載せきれない子どもたちの感想が届き、じっくり読ませてもらいましたが、どの子もよく考えているけれども、迷っているし悩んでいるなと感じました。いわゆる「ジレンマ」という状況でしょう。まさに考える道徳であると思います。何がよいかはわかっているけれど、他にも選択肢があるからこそ人は悩みます。今後も、「答えのない難しさ」を仲間と学ぶ道徳を推進していきたいと思います。

真剣な姿に心を奪われ
～運動会の練習で最終確認～

今年の6年生は、廊下ですれ違う時によく挨拶をしてきます。もちろん担任の先生方の指導もありますが、子どもたちが自らの言動を顧みて進んで行っていると聞いています。それを手本に、他学年も主体的な行動が増えてきたように感じます。これが「開成南小の文化」になるまでには、もう少し時間をかけて継続していく必要がありますが、今の5年生を見ていると、期待が高まります。4年生～1年生にどう引き継いでいくか、今年度後半は、そこが重要だと思います。

写真は、今週火曜日の6年生の体育の授業で、自分たちの演技を映像で振り返っている様子です。真剣さがひしひしと伝わってきます。



夏休みに頑張りました
～入賞紹介　その２～

前号で紹介した子どもたちの頑張りについて、その2をお伝えします。

今回は、「かながわトラストみどり財団主催のポスターコンクールと開成町社会福祉協議会主催の福祉作文コンクールです。

今回入賞した3名はいずれも高学年で、一人一人が自身の感性を表現した作品が出展されました。

夏休み中は、いろいろな体験活動をする絶好の機会ですが、じっくりと各課題に取り組むチャンスでもあります。多くの出展があった中、頑張りが認められて見事入賞したことは、学校としてもとてもうれしいことに他なりません。子どもたちの頑張ったことへの評価は、まだまだ続きます。次回は、税の書道展の結果についてお伝えします。3名の皆さん、おめでとうございます



学校支援ボランティアへのご協力のお願い

本校の保護者の方々には、日頃より多くの支援をいただいており、改めて感謝しております。年度当初に、ボランティアへのご協力をお願いし、これまでも数々のご支援をいただいたところです。650名の子どもたちの学びを充実させることはもちろんですが、安全・安全な学校づくりが最優先事項となります。ただ実際は、その安全を確保するには、マンパワーが必要であり、50名の教職員で担保するには非常に難しい状況にあるため、ボランティアをお願いしている次第です。

今後は、安全担保が徐々に整いつつあるので、環境面での充実に着手したいと思います。現在、読書教育の推進のための「図書館ボランティア」、校地内の育ちすぎた木々等の整備をための「校内環境ボランティア」を募集させていただいています。エントリー締め切りは、昨日でしたが、より多くの方々のご支援をいただきたいので、しばらく継続してお申し出をお待ちしております。